

# 平成17年度 総合健診結果を報告します

市民のみなさんの健康管理に役立てていただくため、昨年4月から7月の間に33会場で「まちぐるみ総合健診」を実施しました。その結果がまとまりましたので報告します。

## 基本健診の結果より

基本健診では、身長・体重測定、尿検査、血圧、血液検査（貧血、肝機能、腎機能、血糖、中性脂肪、総

## ☆各種健診受診者数と要精密検査者の割合

	受診者（人）	要精密検査者（人）	要精密検査割合（%）
基本健診	5,326	1,377	25.9
肺がん検診	4,298	143	3.3
胃がん検診	2,259	184	8.1
大腸がん検診	2,623	232	8.8
肝炎ウイルス検査	363	5	1.4
前立腺がん検診	828	78	9.4
骨粗しょう症検診	1,476	236	16.0
歯周疾患検診	527	443	84.1

コレステロール等、心電図、眼底力メウ検査等を行います。

受診者のうち約6割が女性で、65歳以上の方が全体の約5割を占めます。結果を集計すると、年齢が大きくなるほど要医療、要継続医療の方の割合が増えています。また、各年代とも要精密検査の方が2割ありました。「たいしたことはない」と自己判断したり、「忙しい」などの理由からそのまま放置しておくことはよくないことです。わずかな異常でも、発見された時に適切に対処していれば、心臓病や脳卒中などを未然に防ぐことができるのです。

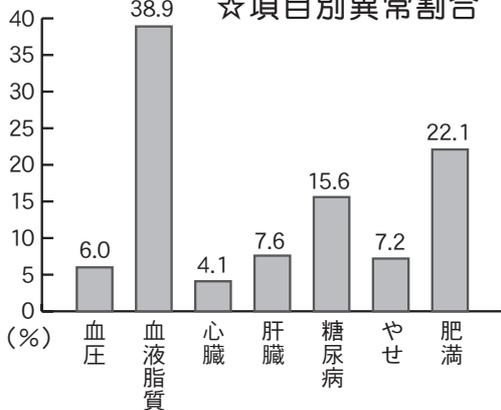
### ◎最も多い血液脂質異常

血液脂質の異常の方が最も多く、全体の約4割を占めます。これは総コレステロール値の高い方、HDLコレステロール（善玉コレステロール）値の低い方、LDLコレステロール

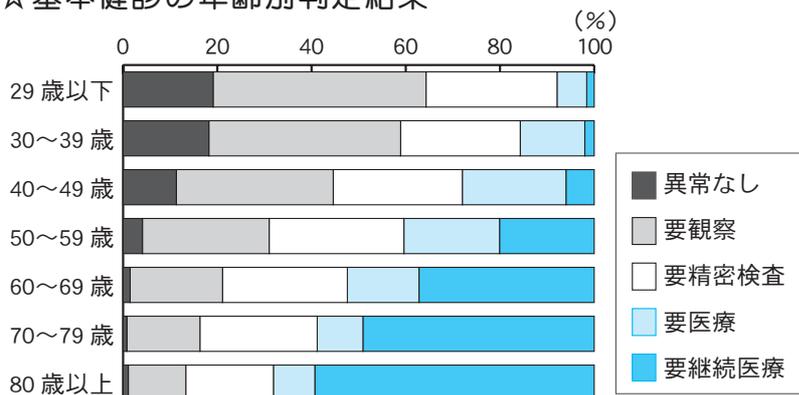
（悪玉コレステロール）値の高い方、中性脂肪値の高い方が含まれます。血液脂質が高いと動脈硬化の原因になると言われています。

次に多かったのが「肥満」で、約2割ありました。肥満はメタボリック症候群（肥満に加え、血圧や血糖値、脂質などの検査値がやや高めものを複数持っている状態。それぞれ治療が必要なほどの値でないもの、やや高めの項目が増えるほど、脳卒中や心筋梗塞の危険が大きくな

## ☆項目別異常割合



## ☆基本健診の年齢別判定結果



ると言われています。平成18年度の健診から、メタボリック症候群の判定のため、健診時に腹囲測定を行います。